

## ＜平成24年度事業報告書＞

### (概況)

各本部の所管事業については、事務局体制や本部内会議等の会議体はその機能を果たしてきたことや、担当理事や常任委員をはじめとしたスタッフが、一丸となって取り組んだできたことが功を奏し、選手の強化育成や、各水域あるいは小学生からマスターズに至る幅広い年齢層への普及活動など、一定の評価をいただけるものになってきたところである。

本年は関東ブロック大会を、東京国体の会場において実施したが、関係官庁や協会加盟団体をはじめとした多数の皆様のご協力をいただき、無事に開催することができた。

一方で、加盟団体や登録選手の減少および競技会への参加クルーの減少傾向という市場の縮小については、未だ効果的な打開策を見出せていないのが実情である。

以上のような背景の中で平成24年度に取り組んだ各事業は以下の通りである。

#### 1. 東京国体準備事業

PR 事業として取り組んできた飯田橋でのボート教室を本年も実施し、都心での展開に相応の効果があった。また、本年はリハーサル大会が開催されたので、その対応に注力すると共に、岐阜国体に役員を派遣し最終的な研修を実施した。

#### 2. 第67回国民体育大会関東ブロック国体運営受託事業

通例は、国体の関東ブロックの予選として行われる本大会が、東京国体のリハーサル大会として実施されたため、江戸川区実行委員会と協力しながら東京都の事業を受託する形で実施した。

#### 3. 競技開催事業

別紙1の通り競技会を開催した。

#### 4. 普及事業

ボート競技の底辺の堅持と競技人口の増大を目的に、都内各地にボート教室を展開し早10年が経過し、今や「東大島・多摩川・水元・日本橋川・東墨田」の5拠点まで拡大した。一方、競技施設の充実を目的に各関係先に働きかけ「水域・船着場・ボート置場・艇庫」の整備・増設を図った。これらの成果として、全国中学大会等において、小学生や中学生の活躍が見られた。詳細については別紙2の通りである。

#### 5. 強化事業

- ・東京都代表クルーの国体の結果は別紙3の通りであった。
- ・当協会所属選手の海外大会への参加状況は別紙4の通りであった。
- ・東京国体に向けて選手の強化、競技力向上を図った。
- ・ジュニア選手を対象に強化合宿および講習会を実施した。

#### 6. 事業報告の付属明細書

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。